

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	マスタピース水和剤
会社	日本曹達株式会社
住所	〒100-8165 東京都千代田区大手町 2-2-1
担当部門	農業化学品事業部普及部
電話番号	03-3245-6178
FAX 番号	03-3245-6084
緊急連絡先情報	農業化学品事業部普及部
電話番号	03-3245-6178
夜間緊急連絡先	高岡工場 R C 推進部/警備室（夜間・休日）
電話番号	0766-26-0255
SDS 作成日	2013 年 10 月 21 日
SDS 改訂日	2016 年 06 月 01 日 (03 版)

2. 危険有害性の要約

【GHS 分類】

爆発物	分類対象外
可燃性又は引火性ガス	分類対象外
エアゾール	分類対象外
支燃性又は酸化性ガス	分類対象外
高圧ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	区分外
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	区分外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類できない
有機過氧化物	分類対象外
金属腐食性	分類できない
急性毒性：経口	分類できない
急性毒性：経皮	区分外
急性毒性：吸入（ガス）	分類対象外
急性毒性：吸入（蒸気）	分類対象外
急性毒性：吸入（粉塵・ミスト）	分類できない

皮膚腐食性又は皮膚刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性	区分外
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分 1A
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない
水生環境有害性（急性）	分類できない
水生環境有害性（長期間）	分類できない

【ラベル要素】

絵表示（GHS-JP）



注意喚起語

警告

危険有害性情報(健康有害性)

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

(安全対策)

予防策については、「7. 取扱いおよび保管上の注意」、「8. 暴露防止措置及び保護措置」を参照。

取扱い後、手、顔等をよく洗うこと。

粉じんの吸入を避けること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保護手袋/保護眼鏡/保護衣/保護マスク等を着用すること。

(応急措置)

応急処置については、「4. 応急措置」、「5. 火災時の処置」を参照。

眼に入った場合：水で数分注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合は洗濯をすること。

(廃棄)

廃棄については、「13. 廃棄上の注意」参照。

内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名

シュードモナスロデシアを有効成分とする農薬殺菌剤

化学名	CAS 番号	濃度	化学式	官報公示整理番号	
				化審法番号	安衛法番号
シュードモナス ロデシア HAI-0804 株	なし	—%	—	—	—
含水非晶質二酸化ケイ素	112926-00-8	10%	SiO ₂ ・nH ₂ O	(1)-548	なし(公表 化学物質扱い)

シュードモナス ロデシア HAI-0804 株の含有量:5E+9 cfu/g 以上

《界面活性剤、その他の鉱物質微粉等》

CAS No. 企業秘密のため記載せず

含有量 75～80%

化審法 登録済み

安衛法 登録済み

4. 応急措置

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。速やかに医師の手当てを受けること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合は洗濯をすること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合、医師の診断/手当てを受けること。

5. 火災時の措置

火災時の措置

- 1) 消火に際しては、通常の消火保護具を着用すること
- 2) 水和性が高いので散水による消火が効果的である。着火源がある時は、強い放水は粉塵を形成し粉塵爆発のおそれがあるので、霧状散水により水和してから大量放水する。
- 3) 周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動できない場合、容器に放水し、冷却する。

適する消火剤

霧状の水、炭酸ガス、粉末消火剤、泡消火剤

6. 漏出時の措置

漏出時の措置

- 1) 風下の人を退避させ、飛散・漏出した周辺にロープを張り、「立入禁止」の措置を行う。
- 2) 回収作業の際は、保護具を着用し、風上で作業をする。保護具については「8. 暴露防止措置」を参照の事。
- 3) 漏出した製品が少量の場合は、湿らせたウエス等で飛散物を拭き取って容器に回収する。
- 4) 多量の場合、粉塵が飛散しない方法で掃き集め、できるだけ空容器に回収する。
- 5) 漏出した跡を多量の水で洗い流す。濃厚な溶液が河川等の公共水系に流れださない様に注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 1) 取扱う場合は、保護具着用のこと。保護具については、「8. 暴露防止措置」参照の事。
- 2) できるだけ粉立ちがないように取り扱い、粉塵の吸入・皮膚・眼・衣類との接触は避けること。
- 3) 取り扱い後は手・顔を洗う。
- 4) 産業衛生学会勧告の第3種粉塵(吸入性粉塵：2mg/m³、総粉塵 8mg/m³)として扱う。

保管

- 1) 直射日光のあたらない、冷暗所に保管する。
- 2) 酸化性物質、有機過氧化物と一緒に保管しない。
- 3) 飲食物と区別し、小児の手の届かない場所に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

《ジュードモナス ロデシア HAI-0804株 のデータ》

厚生労働省（管理濃度） 設定されていない

日本産業衛生学会（許容濃度） 粉末の場合：第3種粉塵（許容濃度：吸入性粉塵 2mg/m³、総粉塵 8mg/m³）（2009年度）

《含水非晶質二酸化ケイ素 のデータ》

日本産業衛生学会（許容濃度） 吸入性：2mg/m³ 総粉塵：8mg/m³（2009年度）

ACGIH（TWA） 10mg/m³（2009年度）

設備対策

屋内使用の場合、発生源の密閉化又は局所排気装置を設置する。

取り扱い場所の近くにシャワー・洗眼器を設置する。

保護眼鏡

ゴーグル型

保護手袋

ゴム・塩ビ等の不浸透性手袋

呼吸用保護具

防塵マスク

保護衣

材質を特定しないが、長袖・長ズボン。つなぎ服の着用を推奨する。

9. 物理的及び化学的性質

形状

粉末

色

類白色

pH

5～8(農薬公定検査法)

溶解度

水和性は良好。(水)

その他の物理／化学的性質

見掛け比重

0.3～0.7(農薬公定検査法)

10. 安定性及び反応性

安定性・反応性

通常取り扱い条件下では、安定である。

11. 有害性情報

有害性情報

皮膚刺激性、経皮毒性は無いが、皮膚感作性がある。

皮膚刺激性

刺激性なし (ウサギ)

眼刺激性

弱い刺激性 (ウサギ)

感作性

皮膚感作性 感作性あり (モルモット(皮内注射))

急性経口毒性

《シュードモノスロデシア HAI-0804 株のデータ》

：単回経口投与、 $1E+8$ cfu/匹 (ラット)：感染性、病原性、体内生残性及び毒性はなし。

急性経皮毒性

：経皮毒性なし。(単回経皮投与、2g/匹投与 (ウサギ))

急性吸入毒性

《シュードモナスロデシア HAI-0804株のデータ》

：単回経気道投与、 $1\text{E}+8$ cfu/匹（ラット）：感染性、病原性、体内生残性及び毒性はなし。

12. 環境影響情報

環境影響情報

製品の水生毒性データは無い。

急性魚毒性

《シュードモナス ロデシア HAI-0804株のデータ》

淡水魚に対する影響（コイ）： $4.7\text{E}+10$ cfu/Lで影響なし。（30日間）

シノコ遊泳阻害毒性

《シュードモナス ロデシア HAI-0804株のデータ》

淡水無脊椎動物に対する影響（オシロイ）： $4.7\text{E}+9$ cfu/Lで影響なし。（21日間）

13. 廃棄上の注意

廃棄上の注意

- 1) 保護具を着用のこと。保護具については、「8. 暴露防止措置」参照の事
- 2) 製品及び空き袋等は、そのまま廃棄物焼却炉で少量ずつ焼却する。その際、「7. 取り扱い及び保管上の注意」の項に記載の注意事項に留意して取り扱う。
- 3) 空容器、取扱い器具を洗浄した水は、河川等に流さず、焼却等により処理する。
- 4) 処理を外部に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

輸送上の注意

- 1) 荷役中の取扱いは、慎重丁寧に行い、手かぎの使用・転倒・落下・衝撃等により容器を傷め、内容物を飛散させてはならない。
- 2) 輸送中は、直射日光や雨水の浸透を防止するため、被覆すると共に、容器を動揺、摩擦、転倒、落下が起こらないように積載・輸送する。

国連分類(クラス)

該当せず

容器等級

なし

国連番号-品名

なし

海洋汚染物質

非該当

15. 適用法令

労働安全衛生法	： 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9） シリカ（政令番号：312） 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条1、施行令第18条） シリカ（政令番号：312）
毒物及び劇物取締法	： 非該当
消防法	： 非該当
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	： 非該当
農薬取締法	： 該当

16. その他の情報

記載内容の問合せ先

農業化学品事業部普及部（TEL：03-3245-6178 FAX：03-3245-6084）

記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

中毒したときの緊急連絡先

公益財団法人 日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）
中毒110番 一般市民専用電話（大 阪） 072-727-2499（情報料無料）
365日24時間対応
（つくば） 029-852-9999（情報料無料）
365日9～21時対応
医療機関専用有料電話（大 阪） 072-726-9923（1件2000円）
365日24時間対応
（つくば） 029-851-9999（1件2000円）
365日9～21時対応
医療機関の方が一般市民専用電話を使用した場合も、
情報料1件につき2,000円を徴収します。